

Concerto Pedemontano

王様が愛した音楽

～17世紀 ヴェネツィアとハプスブルク宮廷の彩光～

日時：2023年 **8月19日(土)**

13時30分 開場

14時00分 開演

入場料：一般 3,500円

高校生以下 1,500円

会場：静岡市清水文化会館

マリナート小ホール

静岡市清水区島崎町214

お問い合わせ：090-7850-8634 (野村)

concertopedemontano@gmail.com



チケットお取り扱い：すみやグッディ本店・SBS通り店、音楽舎、チケットぴあ

協賛：ホームページにて随時更新

後援：日本トロンボーン協会、日本管楽芸術学会、静岡新聞社・静岡放送

●未就学児の入場はご遠慮ください。

●当日は各種感染予防ガイドラインに従い開催します。

◆ホームページのご紹介：こちらのQRコードよりお越しください。

<https://pedemon.amebaownd.com>



トロンボーンとヴァイオリンによるヴェネツィア栄華の残影

ルネサンス期、音楽の中心地ヴェネツィアでは、トロンボーンやヴァイオリンを用いた絢爛豪華な音楽文化が華開きました。音楽好きのハプスブルクの王様は、ウィーンにヴェネツィアの音楽家をたくさん呼び寄せて、お城をヴェネツィア風の音楽で包みます。その後、戦争や疫病により本場ヴェネツィアは衰退しますが、ウィーンではその音楽文化が独自の進化を遂げ、モーツァルトやベートーヴェンの音楽に繋がっていったのです。



Concerto Pedemontano (コンチェルト・ペデモンターノ)

トロンボーン始祖サクバットを中心に据えたヴェネツィアン・スタイルの古楽合奏団。

富士山麓を活動拠点に、世界に向けて、魅力的で、質の高い古楽を発信することを目指し活動をスタート。

Pedemontanoは「山麓」を意味するイタリア古語。

●大内 邦靖 (サクバット)



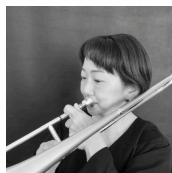
静岡県富士宮市出身。東京学芸大学卒業。同大学院修了。Euro-Japan Music Academyにおいて大賞(ビュッフェ・クラポン賞)を受賞。1997年第1回大阪トロンボーンコンペティションソロ部門入選。イタリア・ポルチア国際音楽コンクール2大会でセミファイナリスト。サクバット奏者として、アントネッロのオペラフレスカ、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン、バロック時代の金管と歌の対話、コントラポントのVespro、ルネサンス驚きの立体音響、対峙する管と弦、オルフェオ・ジャパンなどに出演。2017年サクバットによるリサイタルを開催。現在、山梨大学教育学部教授。

●野村 美樹 (サクバット)



静岡県富士市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。フランス国立ペルピニャン音楽院をトロンボーンと室内楽で満場一致の金メダルで卒業。トロンボーンを吉川武典、藤澤伸行、Marc GADAVEの各氏に、室内楽を安元弘行、武内安幸、Jean-Pierre CENEDESEの各氏に師事。サクバットで古楽演奏法を濱田芳通氏に師事。シンフォニエッタ静岡トロンボーン奏者。

●深澤 真紀子 (サクバット)



茨城県水戸市出身、静岡市在住。玉川大学文学部芸術学科卒業、同大学芸術専攻科修了。トロンボーンを山下誠一、大内邦靖、ジャック・モーゼの各氏に師事。現在、CASA BRASS ENSEMBLE、トロンボーンカルテットENのメンバー。常葉大学教育学部附属橋小学校オーケストラ科非常勤講師。

●古橋 孝之 (サクバット)



国立音楽大学卒業。トロンボーンを外川裕彦、箱山芳樹、細田忠義の各氏に、ジャズトロンボーンをIra Nepus氏に師事。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のルドルフ・ヨーゼルのマスタークラスを受講。マンハッタン・トランスファー日本ツアー、ミュージカル「イン・ザ・ハイツ」などに出演。現在、フリーランサーとしての演奏活動

のほか後進の指導を行っている。アンサンブル・ヴァリエ、トロンボーンカルテットEN、Orchestra de "R"のメンバー。

●丹沢 広樹 (バロック ヴァイオリン)



2000年より国内外で研鑽を積み08年「Cembalism!!」を録音、翌年NHK -FMに収録曲で生出演。同年「Sonar Cantando」での公演が月刊「音楽の友」誌にて『年間コンサートベスト10』に選ばれ、2010、12年伊ブレーシャ国際音楽祭に招聘されるほか、多数のレコーディング、公演に参加。2019年Buxtehude作の「Membra jesu nostri」をAOIにて主催。2021年よりクラシック史500年の表裏を紐解くPT「Vittorio Barocco」を立ち上げる。

●森澤 麻里江 (バロック ヴァイオリン)



東京藝術大学音楽学部卒業。これまでにヴァイオリンを奥村智洋、松原勝也、漆原朝子、水野佐知香、野口千代光、バロックヴァイオリンを丹沢広樹、室内楽を坂井千春、東誠三、菊地知也の各氏に師事。横浜交響楽団定期演奏会にてソリストとしてオーケストラ共演。東京藝術大学シンフォニーオーケストラのプロムナードコンサートではコンサートミストレスを務める。都内や地元横浜にて定期的にリサイタルを開催。ソロ、室内楽、オーケストラなどの分野でモダン・バロック問わず活動、子供への指導やアウトリーチなどの活動も積極的に行なっている。

●杉山 佳代 (チェンバロ)



静岡県富士市生まれ、沼津市在住。東京藝大、同大学院修士課程修了後、ハーグ王立音楽院に留学、各チェンバロ科専攻。幼少より生田流箏曲を森親静氏に師事。小学生時代よりバッハに興味を持つ。チェンバロ、通奏低音奏法等を山田貢、鈴木雅明、トン・コープマン、多田逸郎の各氏等に師事、クラヴィコードを渡辺順生氏の指導を受ける。安宅賞、第7回古楽コンクール第一位、上原賞、第5回栃木〔蔵の街〕音楽祭賞、第5回楽友協会クラシックサロン音楽賞受賞。1998年度より(社)沼津牧水会主催の古楽コンサートシリーズを企画、出演。チェンバロファンシアーズを主宰、コンチェルトゼフィロ鍵盤奏者、静岡県立沼津西高等学校芸術科講師。みゆずメソソ所属。

Facebook instagram YouTube



Concerto Pedemontano SNS→